

# 安保破棄ニュース

No. 485  
2017. 9. 8

## 安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会

〒543-0014 大阪市天王寺区玉造元町一七一三  
TEL 06-6763-1383  
FAX 06-6763-1386  
●Eメール [anpo-osk@abeam.ocn.ne.jp](mailto:anpo-osk@abeam.ocn.ne.jp)  
●ホームページ <http://www.anpo-osk.jp>

### 「翁長知事を支え、辺野古に新基地を造らせない 8・12 県民大会」に参加して

事務局長・守山禎三

翁長知事を支え、政府が建設をやめるまで決して「諦めない」という沖縄県民の強い意志を示すために企画された「県民大会」は、辺野古新基地を造らせないオール沖縄会議の呼びかけで開催され、真夏の沖縄の太陽の下、暑い・熱い大会となり、45000人が参加しました。

8月10日（1日目）

中央安保の呼びかけで全国から39人（大阪安保からは2人）が参加した一行は、まず普天間基地の視察を行い、オスプレイが1機も居ないことを確認した後、ゲート前で「オスプレイの配備撤回」などのシュプレヒコールを行いました。

沖縄医療生協の会議室で日本共産党県議の瀬長美佐雄と、沖縄県統一連の瀬長和男事務局長からの報告を受け、情勢の学習を行いました。

辺野古の現場では、建設工事に抗議して連日座り込みが続けられています。埋め立て工事のために毎日100台を超えるダンプによって土砂が運び込まれ、どうしても県民らのモチベーションは下がっており、政府は県民らが「諦める」ことを待っています。

しかし、埋め立てをするためには10tダンプで350万台もの土砂が必要であり、今のペースでは117年もかかることになり、実際の工事の進捗状況は0.01%にも満たない。

県民に見せつけるために始められた「K9」護岸工事も、100mを越えた辺りでストップしています。

地元紙が「K9」は仮設であり、その先の海底に護岸工事を使う巨大なケーソン（鉄製の箱）を置くはずだったが、取りやめることになったということが報じました。

つまり、沖縄県民の決して「諦めない」不屈の闘いによって、本格的な工事は、まったく着工したとも言えない状況だという説明に、参加者全員が大きな確信を感じました。

そしてまた、この様な事実が一般マスコミなどでは決して報道されない中、私たちが県民に代わって全国の人々に知らせていくことの大切さを再確認するものでした。

8月11日（2日目）

お盆で工事はお休みということで、高江のN1ゲート前はとても静かで落ち着いたものですが、それでもゲート前には民間警備会社の警備員が12人、30分交替で整列しています。

3月から6月末までは、やんばるの森に住む貴重な生物らの営巣期間ということで工事は行われませんが、それでも、彼らは毎日朝から晩まで立っており、この警備費用が1日1800万円。

昨年強行されたヘリパッド工事の費用は、当初予算6億円だったものが、2016年度末までで94億円に跳ね上がっており、昨年12月22日に完成したとして、米軍に引き渡されましたが、実は、無茶な突貫工事をしたため、法面から漏水したり、河口からヘリパッドへの歩行訓練路は未完成のままだったために、いまだに工事が

続けられており、工事費用は膨れ上がる一方です。

大浦湾に戻り、汀間漁港から抗議船「平和丸」に乗って海上から辺野古新基地建設の現場を視察。

ここも工事は休みでしたが、それでもやはり、私たちを監視する船は直に現れます。

これも民間のマリンセキュリティという問題の会社が雇われており、その他にも地元の漁師さんが1日5万円で監視業務に雇われ、その費用は年間4億円。

8月12日（3日目）

午後2時から始まった大会は、発言される一人ひとりの言葉から郷土への計り知れない愛情が感じられ、同時に、その郷土の住民により示された「民意」を踏みにじる日米両政府への怒りが溢れていました。

共同代表の一人、玉城 愛さんの「うちなんちゅが求む「基地負担軽減」に日本政府は全く応えていない」「人間として生きる権利を抵抗の心として掲げ続けていく」という言葉に、多くの参加者が目頭を押さえていました。

そして、最後に登壇した翁長知事には文字通り割れんばかりの拍手と沖縄の指笛が鳴りやまず、「撤回の時期について、私の責任で判断する」という決意に、歓声が沸きあがりました。

大会は「辺野古新基地建設断念」「オスプレイの配備撤回」「普天間基地の閉鎖・撤去」を宣言し、合わせて、「オスプレイ配備撤回、飛行禁止と自衛隊によるオスプレイ導入撤回を求める」特別決議を確認しました。

沖縄のたたかいは新しいステージへと突入します。

私たちは、沖縄県民と連帯して、立憲主義 民主主義を取り戻し、静かな海・美しい恵み豊かな自然の中で暮らす当り前の暮らしを取り戻すために闘います。

来年2月4日に行われる名護市長選挙は、辺野古新基地建設の地元自治体の首長を選ぶ選挙です。

この選挙は、「戦争する国となるのか、憲法がくらしにいかされる平和な国を発展させるのか」という日本国民の岐路における大きなたたかいです。

北朝鮮問題にみられる「日米同盟第一」の安倍政権の姿勢と、それを反映し、利用しての軍事拡大は、全国で多くの国民が感じ、放置できない状況となっている中、沖縄のたたかいに勝利し、国民不在の安倍政権に鉄槌を下すため、力を合わせましょう。

## 維新政治ストロップス！

く堺市長選挙 絶対勝利のためにく

9月24日投票で、堺市長選挙が行われます。

大阪の平和・国際友好団体としては、投票日までの平日、毎日18時半〜20時に、阪和線浅香駅で、駅頭宣伝（「日刊 堺はひとつ」配布）を行っています。

参加できるという方は是非、ご参加ください。事前にいつ参加できるかの連絡をいただけると助かりますが、連絡なしでの参加でも大歓迎ですので、よろしくお願ひします。

## 当面の予定

2017年

9月

- 21日(木)「わかもの集まれ! 沖縄いこかの会」  
(19:00~大阪平和委員会)
- 22日(金) 大阪 安保23定例宣伝行動(12:00~淀屋橋)  
映画「明日へ」完成披露有料試写会、  
(大阪ドーンセンター①13:30~②16:00~③18:30~)
- 24日(日)堺市長選挙投票(10日告示)
- 25日(月)おおさか総がかり行動実行委員会  
(18:30~エルおおさか)  
「日本平和大会 in 岩国」大阪実行委員会  
(11:00~大阪平和委員会)
- 27日(水)府議会開会日行動(8:30~府庁前宣伝、  
12:15~大阪城芝生広場で集会、パレード)
- 29日(金)「沖縄の声を聞こうツアー」  
(大阪青年沖縄ツアー) (~10/1)

10月

- 4日(水) 常任幹事会(10:00~大阪安保)
- 14日(土) 安保破棄中央実行委員会拡大常任幹事会
- 23日(月) 大阪 安保23定例宣伝行動(12:00~淀屋橋)
- 27日(金)~31日(火)「日本高齢者大会」 in 沖縄
- 28日(土)~29日(日) 日本平和大会 in 岩国

11月

- 1日(水) 常任幹事会(10:00~大阪安保)
- 3日(金・祝) 9条改憲を許さない! アベ政治を終わらせよう!  
11・3 おおさか総がかり集会  
(13:30~中之島公園・剣先広場)
- 4日(土)~5日(日) 新日本婦人の会全国大会
- 22日(水) 大阪 安保23定例宣伝行動(12:00~淀屋橋)
- 24日(金)~26日(日)「日本のうたごえ祭典」
- 26日(日) 岸和田市長選挙投票日 (19日告示)

12月

- 2日(土)~4日(月) 安保破棄実行委員会全国代表者会議 in 沖縄
- 6日(水) 常任幹事会(10:00~大阪安保)
- 22日(金) 大阪 安保23定例宣伝行動(12:00~淀屋橋)

安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会の2017年後半幹事会(臨時総会に相当)を8月25日(金)の午後6時半から、大阪国労会館1階で行いました。11団体・地域から20人の出席でした。2017年の上半期の活動を振り返り、これからの活動の方針を確認しました。

植田代表幹事のあいさつに始まり、守山事務局長からの報告に続き、討論が行われました。

ALAの澤田さんは、日米安保が質的に急速に変化している問題に関して触れられ、「北朝鮮問題は、対話による解決しかないというのが世界の声なのに、日本政府だけはこれを否定している。日米安保の存続のためには、戦争をしてもいいと言っただけのこと言っている。北東アジアの情勢を見て、『戦争するな どの国も』と、署名活動、抗議活動に積極的に取り組んでいく」と発言されました。

安保破棄岸和田実行委員会の横井さんからは、8月23日に開催した学習会の報告を中心とした発言でした。DVD「1960年安保闘争―不滅の足跡―」視聴と、沖縄行動の報告も入れての学習。その中で、若い人から、「安保闘争のこともとは何だったのかが分かった」などの感想が出されたとの発言がされました。

民青からは、「わかもの集まれ! 沖縄いこかの会」として松田さんが発言。青年対象の沖縄ツアー第3弾を9月29日から10月1日にかけて行うことと、できるだけ多くの青年が参加できるようにと

# 変質する日米安保をにらみ、「安保破棄」の活動の展開を!

安保破棄大阪実行委員会

「2017年後半幹事会」開催



## 23 宣伝行動

通産 354 回目となる「大阪安保 23 宣伝行動」を、8月23日の昼12時から1時に行いました。残暑が厳しく、猛暑の中でしたが、9団体・地域から15人が参加して、ビラ配布と宣伝カーからの訴えをしました。ビラは、オーストラリアでのオスプレイ墜落事故とそれをめぐっての日本政府の対応に対する抗議、北朝鮮問題に関して「憲法9条をもつ日本こそ、北朝鮮問題の平和的解決に向けて、米国に対話をおこなうよう求めるべきです」という内容でした。

大阪原水協、母親大会連絡会、府民要求連絡会、共産党府委員会、自治労連、平和委員会から弁士を出してもらいました。原発問題、核兵器禁止条約をめぐる動き、「森友学園・加計学園問題」、沖縄・普天間基地をめぐる問題、オスプレイ問題、軍学共同の問題などを、淀屋橋を通行している人たちへ訴えました。

宣伝カーに垂らしている、普天間基地周辺をうつつした大きなタペストリーを見ながら歩いていく人が多くいました。

9月の23宣伝行動は、22日(金)に行います。多数のご参加をお願いします。

9月の23宣伝行動は、22日(金)に行います。多数のご参加をお願いします。



カンパの協力を訴えられました。自治労連の鴻村さんは、「すべての根源は日米安保。情勢を沖縄からだけとらえるのでなく、もっと全体的なことからとらえていくことが必要。大阪安保は大阪での活動をもっと展開しなければいけない。維新との闘いが大阪にとっては重要。今は何よりも堺市長選挙」という発言がされました。

安保破棄中央区実行委員会の北川さんからは、8月で連続244回となる「中央区23宣伝行動」に関しての発言がありました。「諸悪の根源は日米安保」ということを知らせていかないといいけないという発言がされました。

9月23日投票で行われる堺市長選挙に力を出し、来年2月4日投票で行われる沖縄・名護市長選挙に何が何でも勝利するために大阪安保としてできる支援活動を今後具体化していくことや、大阪安保の活動を強めて行くための体制強化を図ることなどが確認されました。